

2023年度点検・評価シート

- ・評価の視点【基礎要件●】は法令要件、その他基礎的要件の充足状況を判断する指針
 【評価要件○】は基礎要件以外で、大学基準協会が大学基準に照らし定めた指針
- ・評価の視点に“※”が付されている場合は、大学基礎データ、基礎要件確認シート及び別途収集する根拠資料により、点検・評価し、適切性を判断してください。
- ・★のある欄は、必須記述欄です。ただし、該当なしと判断した場合は「なし」と記入してください。
- ・◆のある欄は、各点検・評価項目の内容について、問題点を記入してください。（ない場合は「なし」と記入）

I【現状】原則2023年5月1日現在の状況で回答してください。

対象部局	25 健康科学科	責任者	後 藤 孝 也
基準 5	学生の受け入れ	自己評価	B
★基準5の自己評価の理由を簡潔に解説してください。			
≪回答≫ これまでの取り組みとして、オンラインでの大学紹介のための進学相談、医療看護系予備校主催や高校独自の進学相談での学校紹介ができる機会には、積極的に参加して本学の魅力を紹介して来た。また、若手の助手などが主体になって学校紹介動画やSNSの媒体を用いての学科紹介を積極的に行って来た。3コース制が始まったことなどもリーフレットを作成し広報活動を展開して来た。その結果、昨年度と比較して、入学者数は増加した。しかしながら、定員の充足率は100%に届いてはいない。そのため自己評価としては「B」とした。今後も継続的に学科の魅力の広報活動を継続していく予定である。			
点検・評価項目(1)	5-1 学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。		
★<学生の受け入れ方針>（記入してください。） 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー) 健康科学科は、教育研究上の目的、学位授与方針、教育課程の編成・実施に基づき、以下の能力を備えた受験生を各種選抜試験によって受け入れる。 1. 知識・技能 1) 入学後の就学に必要な基礎学力を十分有している。 2) 現代社会の様々な健康問題に対する興味を持っている。 2. 思考力・判断力・表現力 1) 自分の考えを的確に表現し、伝えることができる。 2) 課題に対して多面的かつ論理的に考察することができる。 3. 主体的に学習に取り組む態度 1) 臨床検査学、健康マネジメント学、自然科学分野を含む健康科学に強い関心を有している。 2) 健康科学に対して自ら学び発展しようとする高い勉強意欲を持ち、継続的な努力ができる。 3) 豊かな人間性を持って多様性を受容し、他者と積極的に対話することができる。			変 有 () 更 無 (✓)
評価の視点1※ 【基礎要件●】	学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を踏まえた学生の受け入れ方針を設定し公表している。根拠資料→A1-6-1Web サイト 大東文化大学の基本方針、基礎要件確認シート 15		
評価の視点2※ 【基礎要件●】	方針には、入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像を踏まえて設定している。 根拠資料→A1-6-1Web サイト 大東文化大学の基本方針		
評価の視点3※ 【基礎要件●】	入学希望者に求める水準等の判定方法が明確に示され、公表している。 根拠資料→A1-6-1Web サイト 大東文化大学の基本方針		
◆学生の受け入れ方針の内容や、公表の仕方について問題点があれば記述してください。（ない場合は「なし」と記入）			
≪回答≫ なし			
点検・評価項目(2)	5-2 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。		
評価の視点1※	学生の受け入れ方針に基づく学生募集方法及び入学者選抜制度を適切に設定している。 根拠資料→A5-1Web サイト 入試情報、B5-2 入学試験要項（一般、公募制推薦、自己推薦、社会人、編入学、科目等履修生、外国人留学生）、A5-4* 大東文化大学入学者選抜試験規程		
評価の視点2※	授業料その他の費用や経済的支援に関する情報提供を適切に行っている。 根拠資料→A5-1Web サイト 入試情報		
評価の視点3※	学科ごとに入試に関わる委員会等を設置し、入学者選抜実施のための運営体制を整備している。 根拠資料→A3-11* 入学センター規程、B5-15 部局内入試委員会名簿		
評価の視点4	公正な入学者選抜を実施している。根拠資料→A5-3Web サイト、A5-4* 大東文化大学入学者選抜試験規程		

<p>★項目 (2) 5-2① 公正な入学者選抜を実施するため、どのような取り組みを行っているか、根拠資料を用いて回答してください。</p>	
<p>《回答》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合型選抜入試(旧 A0)においては、自己推薦書、面接の他学力試験(英語、生物、化学、数学)を実施している。また、面接においては、面接評価シートを作成し打ち合わせを行い、面接官による質問の偏りや評価基準に偏りが生じないようにしている。その他、高等学校から提出された調査書も参考にし、各項目の評価について数量化し総合点を受験生の総合評価指標とし合否判定を行っている。 ・学校推薦型入試においては、推薦書(高等学校)、面接、調査書、学力試験を上述した方法と同様の観点から総合評価資料とし合否判定を行っている。 ・特別選抜入試は、推薦書(高等学校)、面接、調査書を上述した観点から総合評価資料として合否判定を行っている。 ・大学共通テスト利用入試、並びに一般選抜入試に関しては、該当試験科目の総合点から合否判定を行っている。 ・英語民間試験活用総合評価入試については、英検などの英語資格のグレードを得点化し、合否判定を行っている。 	<p>《資料名》</p> <p>25-C5-1 : 推薦入試採点表</p>
<p>★項目 (2) 5-2② オンラインによる入学者選抜を行う場合における公正な実施 (オンラインによる入学者選抜を検討していれば、実施する場合における課題やメリット等を記述してください。)</p>	
<p>《回答》</p> <p>本学科では、現在オンラインによる入学者選抜は実施していない。</p>	
<p>評価の視点 5</p>	<p>入学を希望するものへの合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜を実施している。(一般入試及び多様な入試への対応) 根拠資料→A5-3Web サイト、A5-4*大東文化大学入学者選抜試験規程</p>
<p>★項目 (2) 5-2③ オンラインによって入学者選抜を行う場合における公平な受験機会の確保 (受験者の通信状況の配慮等) (オンラインによる入学者選抜を検討していれば記述してください。)</p>	
<p>《回答》</p> <p>本学科では、現在オンラインによる入学者選抜は実施していない。</p>	
<p>◆ 学生募集及び入学者選抜について問題点があれば記述してください。(ない場合は「なし」と記入)</p>	
<p>《回答》</p> <p>学生募集において、新カリキュラム移行に伴い臨床検査、健康マネジメント、理科の3コース制になったことより、学生の各自の希望に沿ったコースが選択できるということを広く周知する必要がある。そのため、入学説明会やオープンキャンパスなどで、機会を見つけて周知していく必要があると考えている。入試選抜の方法に関しては、より成績上位の生徒の志願者増加が得られるように努める必要がある。それには、学生募集の段階での周知が効果的であると考えている。入学者選抜では推薦入試での多様な選抜方法(学校推薦、スポーツ推薦など)を取り入れて選抜をしていく計画であるが、それぞれの選抜基準を公平に行うという点においてどのように行うかが今後の課題と考えられる。現状での選抜基準を高める必要があると考えられる。</p>	
<p>点検・評価項目 (3)</p>	<p>5-3 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理している。</p>
<p>評価の視点 1 ※ 【基礎要件●】</p>	<p>学科の入学者数は、入学定員に対して適正な数である。 注：定員管理の指針 入学定員に対する入学者数比率 (5年平均) 定員超過→実験実習を伴う分野 1.20 以上(改善課題)、1.25 以上(是正勧告) 上記以外の分野 1.25 以上(改善課題)、1.30 以上(是正勧告) 定員未充足→0.90 未満(改善課題)、0.80 未満(是正勧告) 根拠資料→大学基礎データ表 2、基礎要件確認シート 16</p>
<p>評価の視点 2 ※ 【基礎要件●】</p>	<p>学科の在籍学生数は、収容定員に対して適正な数を維持している。 注：定員管理の指針 収容定員に対する在籍学生数比率 定員超過→実験実習を伴う分野 1.20 以上(改善課題)、1.25 以上(是正勧告) 上記以外の分野 1.25 以上(改善課題)、1.30 以上(是正勧告) 定員未充足→0.90 未満(改善課題)、0.80 未満(是正勧告) 根拠資料→大学基礎データ表 2、基礎要件確認シート 16</p>
<p>評価の視点 3</p>	<p>収容定員に対する在籍学生数の過剰又は未充足に関する対応</p>
<p>★項目 (3) 5-3 収容定員に対する在籍学生数の過剰又は未充足がある場合、当該部局としての改善策 (今後実施予定のものも含む) 根拠資料を用いて回答してください。</p>	
<p>《回答》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、学生数の定員は未充足であるため、新カリキュラムの3コース制をスタートさせ、 	<p>《資料名》</p>

<p>様々な進路希望を持った学生の獲得を目指して努力をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで、外部の医療看護系予備校（新宿セミナー(Ena)、学校からの依頼により教員が高校や医療系の進学セミナー合同説明会）へ出張して学科の説明会を行い学部学科の魅力や学部の紹介を実施している。 ・本学科教員がオンラインでの学科の紹介や入試説明会を定期的に行っており、実施している。 ・オープンキャンパスでは、学科の魅力を伝えるために、模擬授業や個別相談会を行なっている。 		<p>25-C5-2 :</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 説明会、個別相談会への出張報告書・メールの写し 2) オープンキャンパス担当表 3) オンライン説明会資料
点検・評価項目(4)	5-4 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	
評価の視点1※ 【評価要件○】	適切な根拠(資料、情報)に基づく定期的な点検・評価を実施している。 根拠資料→B2-51 2023年度点検・評価シート B2-52 会議録(または準ずるメール記録)：(開催日) 2023年度自己点検・評価について	
評価の視点2 【評価要件○】	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っている。	
<p>★項目(4)5-4 改善・向上に向けてこれまでに取り組んだこと、現在取り組んでいることがあれば、具体的に回答してください。 2019年度以降の取り組みも含めて記述してください。</p>		
<p>《回答》</p> <p>項目3-5-3で記載した通りである。以下再掲。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで、外部の医療看護系予備校（新宿セミナー(Ena)、学校からの依頼により教員が高校や医療系の進学セミナー合同説明会）へ出張して学科の説明会を行い学部学科の魅力や学部の紹介を実施している。 ・本学科教員オンラインでの学科の紹介や入試説明会を定期的に行っており、実施している。 ・オープンキャンパスでは、学科の魅力を伝えるために、模擬授業や個別相談会を行なっている。 	<p>《資料名》</p> <p>25-C5-3 :</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 説明会、個別相談会への出張報告書・メールの写し 2) オープンキャンパス担当表 3) オンライン説明会資料 	

II 現状を踏まえ、長所・特色として特記する事項（工夫していること）を、意図した成果（目標）を明確にして記述してください。

※注：前年度の取り組みに限らず、過去から継続している事項も含める

長所・特色	<p>医療系・看護系の進学予備校などが主催する進学説明会には積極的に参加し、説明会のブースで大学パンフレットや学部学科のリーフレットを配布して、周知活動、学校紹介活動を展開している。オンライン学校紹介を大学ホームページ等で紹介し、希望する高校生に進学相談会などを提供している。目標としては、定員の充足率を100%とすることである。</p>
-------	---

III 今回の点検・評価の結果、明らかになった新たな問題点や課題について、今後の方針や計画を含めて記述してください。

※注：2023年度事業計画としてアクションプランを策定しているものは除く

問題点・課題	<p>魅力ある大学として高校生に周知し認知をしてもらうことや、高校の教職員へ本学の魅力を理解して頂き、高校の在校生へ本学への進学、受験を勧めてもらえるように努力をする。そのために様々な手段を講じて周知活動を行う。限られた予算や方法の中で如何に効率良く効果的に広報活動を展開するかという点が課題となる。</p>
--------	--

IV 【改善計画（事業計画）】

カテゴリ	計画番号	B票No. or 開始年度	改善計画 (アクションプラン)	内容(改善を要すると判断した根拠)	目標の評価指標	目標値	年度計画
②	2	2022-5Ⅲ-1(5-3)	定員充足率の確保	<p>2022年度入試から2025年度入試まで、4年間定員充足率100%~109%を達成する。</p> <p>①学校説明会、高等学校からの模擬授業の要請、並びに医療系進学説明会などの積極的な参加。</p> <p>②学科独自のオンライン説明会(毎月4回程度の実施)</p> <p>③SNSにより、学科の情報発信(授業動画の配信を含む)</p>	定員充足率を評価の指標とする。	<p>A(100%)：定員充足率106%~109%</p> <p>B(80%)：定員充足率100%~105%</p> <p>C(50%)：定員充足率91%~99%</p> <p>D(20%)：定員充足率90%</p>	<p>2022末結果：C</p> <p>2023：C</p> <p>2024：B</p> <p>2025：A</p>

			④指定校への独自案内や学科通信の送付。 ⑤学科独自のリーフレットの高等学校への配布など。			
--	--	--	---	--	--	--

V【内部質保証委員会による点検・評価】

<p>2022年度<所見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の受け入れ方針、これに基づく学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制の整備と入学者選抜の公正性の確保については、大学の理念・目的（教育研究上の目的）を実現する取り組みが概ね適切であると評価できる。 ・他方、4年間連続の入学定員未充足（とくに2021年度入学者は定員の71%）と収容定員未充足という事態を改善するための方策の1つとされる2021年度からの医療系進学説明会へ積極的参加（健康科学科に対する受験生の認知度アップ）していることは評価できる。一方、その効果をについて、受験生・入学者増につながっているかを検証されることが望まれる。また、2022年度から予定されている「3コース制」（「臨床検査」、「健康マネジメント」、「理科教員」の各コース）についても、新たな取り組みとして評価できる。ただし、それによってどのような成果（入学者増）に繋がっていくのかは資料からは読み取れなかった。 ・臨床検査技師国家試験の合格率低下は、大幅な定員割れという事態と相俟って、APと受入学生との整合性それ自身が危殆に瀕していることの証左であり、一般選抜入試だけにとどまらない深刻な問題を提起しているものと思料される。しかるに、この点について提出された根拠資料は、「スポーツ・健康科学部内各種委員会委員（案）＜健康科学科＞」だけであり、事態を打開するための具体的な方策を窺うことができなかった。よって、健康科学科においては、入試広報活動の改善にとどまらず、APの見直しや適切な入学者選抜制度の構築・運営体制の整備等を含む学生受け入れの適切性をも視野に入れた点検・評価体制を早急に構築し、その下で具体的な施策の検討・実施を継続的に進めていくよう期待したい。
<p>2023年度<所見></p> <p>学生の受け入れ方針は、学位授与方針、教育課程の編成方針との一貫性も考慮されている。これらの方針は学部学科のHPなどで公表され、各方針との連関性も確認でき評価できる。</p> <p>入学者選抜の制度化に関しては、大学として「入学センター規程」及び「大東文化大学入学者選抜試験規程」に基づく制度と体制により「入学試験要項」が定められ、公正な入学者選抜を実施していると判断できる。これらにより、学生の受け入れに関する方針の設定と公表、及びこれに基づく入学者選抜の制度や運営は、適切かつ公正に実施していると評価できる。</p> <p>健康科学科は、2023年度の入学定員充足率は0.96と若干改善されたが、過去5年の入学定員に対する平均比率が0.84、収容定員0.81と定員割れが続いている。医療系・看護系の進学予備校主催の進学説明会への積極的参加などといった広報活動や新カリキュラムにおいて3コース制をスタートさせることによって様々な進路希望を持った学生の獲得に注力していることは評価できる。2021年度と比較すると入学定員充足率は増加傾向にあるが、事業計画にも「定員充足率の改善」が策定されているので、計画が進捗することを期待したい。なお、限られた予算や方法の中で如何に効率良く効果的に広報活動を展開するか、ということを問題点・課題とされているが、SNSの利用など新たな方法を検討することも一考である。</p>

◆評価の基準について

※各基準の「自己評価」は、各部局の判断に委ねられます。なお、青字部分は、本学としての解釈です。

S	<p>大学基準に照らして極めて良好な状態にあり、理念・目的（教育研究上の目的）を実現する取り組みが卓越した水準にある。</p> <p>（評価の視点に対して、クリアしており、さらに向上させるための取り組みを行っている、または、他部局の参考となるような特色ある取り組みを行っている場合）</p>
A	<p>大学基準に照らして良好な状態にあり、理念・目的（教育研究上の目的）を実現する取り組みが概ね適切である。</p> <p>（評価の視点に対して、クリアしている状況と判断する場合）</p>
B	<p>大学基準に照らして軽度な問題があり、理念・目的（教育研究上の目的）の実現に向けてさらなる努力が求められる。</p>
C	<p>大学基準に照らして重度な問題があり、理念・目的（教育研究上の目的）の実現に向けて抜本的な改善が求められる。</p>

<注>「大学基準」は大学基準協会「大学評価ハンドブック」を参照のこと。

解説にある「大学は云々・・・」については、学部、研究科等の現状に置き換える。

基準5 学生の受け入れ**【大学基準】**

大学は、自ら掲げる理念・目的を実現するために、学生の受け入れ方針を定め、公表するとともに、その方針に沿って学生の受け入れを公正に行わなければならない。

(解説)

大学は、その理念・目的を実現するために、学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を踏まえ、入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像、入学希望者に求める水準等の判定方法を示した学生の受け入れ方針を定め、公表しなければならない。また、入学定員及び収容定員を適切に定め、公表しなければならない。

大学は、その受け入れ方針に基づき、高等学校教育と大学教育との関連、社会人、帰国生徒及び外国人留学生の受け入れ、飛び級、編入学、転科・転部など、国際的規模での社会的要請に配慮し、適切な入学者選抜制度及びその運営体制を整備し、入学者選抜を公正に行う必要がある。

大学は、教育効果を十分に上げるために、入学定員に対する入学者数及び収容定員に対する在籍学生数を適正に管理しなければならない。

大学は、学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価し、その結果を改善・向上に結びつける必要がある。